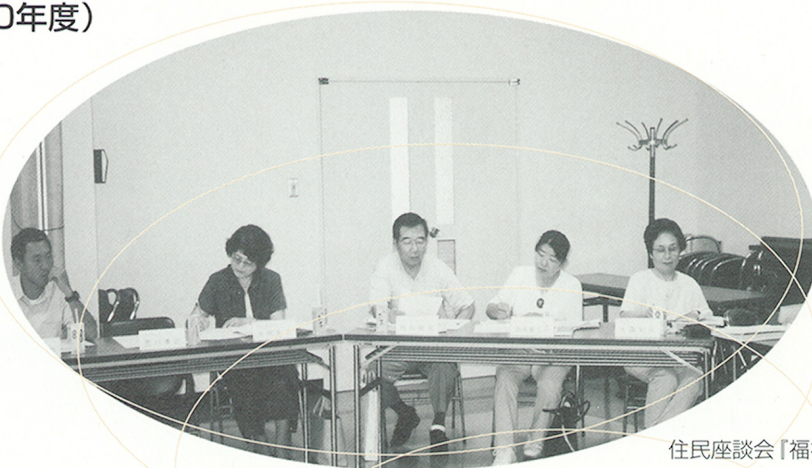


だれもがすみよい 地域福祉まちづくり

東区社会福祉協議会「地域福祉活動計画・中間報告」

(平成16～20年度)



住民座談会「福祉をかたろう」

地域福祉活動計画の 4つの基本計画と10の対応策

基本計画1 必要な福祉に関する情報を届けよう

- ① 情報発信のネットワークをつくる
- ② 福祉なんでも110番をつくる

基本計画2 気軽に集える場を地域につくろう

- ③ ご近所の輪を広げる
- ④ 地域で子どもを見守る

基本計画3 「ともに生きる」ことを大切にした啓発活動を行おう

- ⑤ 地域で楽しく子育てを学ぶ
- ⑥ 誰もが参加できる企画づくり
- ⑦ バリア探検隊を結成する

基本計画4 皆で地域福祉活動に参加しよう

- ⑧ 地域福祉サポーターを確保する
- ⑨ 地域助け愛スタッフを募集する
- ⑩ 人材確保の新しい仕組みを考える

◆東区社会福祉協議会では、「暮らしやすい個性ある福祉のまちづくり」を目的に、地域福祉活動計画をまとめました。この計画は、住民の皆さんと一緒に、平成16～20年度の間に取り組み、東区に必要な地域福祉活動の重点事業等をまとめたものです。

◆年齢や障害の有無に関わらず、東区に住む人、東区で活動する人誰もが、人権と人としての尊厳を尊重し、支えあい、誰もが参加できることを全ての前提として取り組みました。

◆計画を常に評価し、その効果について、そして私たち区民が望む「まちづくり」になっているかを見直していく。この動きを繰り返していくかなければなりません。「地域福祉（だれもがすみよい）まちづくり」は、このような動きが、常に積み重ねられていくものと考え、「中間報告」と題します。

基本計画 1

福祉に関する 必要な情報を届けよう

高齢者や障害者、子育て支援など、様々な施策や事業が行なわれていますが、その対象者に対して、必要な情報が伝わっていないのではないのでしょうか。必要とされる人すべてに、必要な情報が届くしくみを考えていきます。

●「情報の発信を行う拠点をつくる」

⇒行政、社協、地域団体の様々な情報を集約し、発信する場・ネットワークをつくる。

(例) 情報紙の編集・発行、地域団体と子育てサークルや障害者グループの交流会

●「福祉なんでも110番をつくる」

⇒困ったときにどこに相談すればよいか道案内してくれる「総合案内所」をつくる。

(例) 高齢者福祉なんでも相談所、障害者地域生活支援センターなどの専門機関と協働して、総合案内窓口を開設

●「情報収集、発信する人材を育てる」

⇒拠点で集まった情報をとりまとめ、情報紙やインターネットでの情報発信、また、近隣の人が回覧板の読み聞かせを行うなど、情報のエキスパートを育てる。

(例) 手話・要約筆記・朗読・パソコンボランティア講座などの実施

●「全ての人に情報が行き渡る仕組みをつくる」

⇒情報を集約して、地域に密着した情報紙づくりやインターネットの活用、既存の広報を点字、音声、拡大文字にするとともに、人を介して、誰に対しても情報が伝わる仕組みをつくる。

(例) 掲示板の活用、町内会・自治会での呼びかけ

●「情報を伝えてくれる協力店をつくる」

⇒地元のスーパー、病院、郵便局などに、情報紙を置いてもらうなどの協力を依頼し、色々な場所で情報が手に入るようにする。

(例) 情報紙を置く商店

基本計画 2

気軽に集える場を 地域につくろう

都心・都心周辺部に共通する課題かもしれませんが、ご近所での「井戸端会議」を通じて、住民同士が情報交換をする機会が、ほとんどありません。私たちは、ご近所づきあいを見つめ直し、出会いの場づくりについて考えていきます。

●「コンビニ型の“たまり場”をつくる」

⇒家の近所で、地域に住む様々な人が気軽に集い、語らう場をつくり、情報交換を行うことによって、日頃の悩みなどの解決ができるような場をつくる。

(例) コミュニティセンターや民間施設の積極活用

●「ご近所ネットをつくる」

⇒近所であいさつや声かけを通しての「見守り」とともに、ひきこもりがちの人たちなど「誰もが近所づきあいを広げられる」仕掛けをつくる。

(例) 地域や団体の楽しい行事への参加を呼びかけ

●「地域で子どもを見守る」

⇒地域に住んでいる子どもは、地域の宝。地域住民はもちろん、子どもたちが毎日歩く通学路にある商店街の店主などに働きかけ、地域で見守り、地域で子どもを育てる仕組みをつくる。

(例) 商店街を活用した通学時の見守り

●「みんなが集えるサロンをつくる」

⇒高齢者や障害者、子育て中の親と子、学校帰りの子どもなど、皆が集まるサロンを区内に数か所つくる。

(例) 空き店舗の活用

●「“拠点”をつくる」

⇒いろいろな企画を考えたり、情報紙をつくったり、ボランティアの活動の拠点となる場所を区内に数か所つくる。

(例) 既存の活動の場に誰もが参加しやすい雰囲気づくり

基本計画 3

“ともに生きる”ことを 大切にしたい啓発活動を行おう

「ともに生きる」意味を正しく理解するために、あらゆる手段で啓発をしなければなりません。私たちは、効果的な啓発の方法を考えていきます。

●「学習会、研修会等を通じて啓発する」

⇒学習会・研修会を通じ、自ら体験することにより障害者や高齢者への理解、子育てについて学ぶ。

(例) 保健所や福祉施設などの協力で、福祉体験学習や懇談会の開催

●「文化施設を誰もが楽しめるようにする」

⇒展示物の点字案内・字幕ガイド・音声ガイドなど、誰もが楽しめるような施設づくりを提案していく。

(例) 文化施設の点検と提案、字幕や要約筆記を行う

●「誰もが参加できる企画づくりを進める」

⇒手話、要約筆記、字幕、点字、車いすへの配慮など、誰もが参加できる企画づくりを行う。誰もが活躍できる企画づくりを進める。

(例) 企画段階から障害者の協働を得る

●「障害者と一緒にまちを探検する」

⇒小・中・高生と障害者がまちを探検、点検する「バリア探検隊」を結成し、その成果を見聞きする会を催す。

(例) 特に生徒は校外学習や長期休暇の自由研究として

●「地域で楽しく子育てについて学ぶ」

⇒子育ての楽しさを学ぶことで、子育てマインドを育てていく。

(例) 親子スポーツ大会、親子料理教室

地域福祉まちづくり アイデア集

わがまちひがしの地域福祉活動計画は、こんなまちづくりです。

●「親を育てる学習会を開催する」

⇒小学生から若い親までを対象に、子育ての疑似体験教室を実施し、これから親になる人が子育ての大切さ、楽しさを学ぶ。

(例) 保育園と中学校の交流、おばあちゃんの子育ておはなし会

●「公共施設の職員研修に福祉体験を盛り込む」

⇒公的なサービスに携わる職員を対象に福祉体験をしたり、当事者の体験談・工夫を聞いたりするなどして、福祉への理解を深め、よりよい業務に活かしてもらう。

(例) 新任者・管理職研修の一環として

●「困っている人が伝える」

⇒障害者など当事者がまちのマナー違反で困っていることをまとめ、当事者が講師となったマナーアップ講座などを開催する。

(例) 地域行事の催しとして、情報紙の記事として

基本計画 4

皆で地域福祉活動に 参加しよう

地域福祉活動を行う人が固定され、その人たちが多くの活動を担い、負担が増大しています。また、高齢化により、担い手が不足しています。私たちは、新たな担い手の発掘と育成を考えていきます。

●「地域福祉サポーターを確保する」

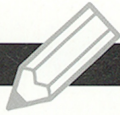
⇒地域福祉の理念をふまえた事業の企画を考える「サポーター」を確保する。

(例) 地域福祉サポーターの確保

●「地域助け愛スタッフを募集する」

⇒様々な特技をもった人材の発掘・養成を行うしくみをつくる。その人たちの特技を活かして活動していただく。

(例) ボランティア登録を広くPRし、積極的に働きかける



だれもがすみよい

数字で見る「東区の地域福祉まちづくり」豆知識

(平成16年4月現在)

人口	67,197人	共同募金協団法人	329法人
世帯	32,271世帯	賛助会員法人会員	171法人
区政協力委員	176人	高齢者福祉なんでも相談所	10施設
町内会・自治会	2,427組	介護保険施設	8施設
コミュニティセンター	8か所	障害者施設	4施設
地域福祉推進協議会	9団体	老人福祉センター・シルバー人材センター	2施設
民生委員	132名	児童施設・保育園・子育てサロン等	20施設・団体
老人クラブ	78クラブ	トワイライトスクール	5施設
子ども会	129会	更生保護施設	1施設
ボランティア	112団体	幼稚園	10園
	個人55名	小学校・中学校・高等学校	27校

東区の皆さんの参加とご意見から
本計画がまとめられました

わがまちひがしの地域福祉活動計画の作成と推進のために、話し合った主な経過は、次のとおりです。

住民座談会「福祉をかたろう」

平成15年7月30日～8月11日、東区内9学区を3学区ずつのブロックごとに開催。

「福祉のつどい」

平成15年12月9日、東文化小劇場で、本計画の中間報告会。

「関係機関報告会」

平成16年2月24日、関係行政機関に対し、本計画の中間報告を行う。

地域福祉活動計画策定委員会

鬼頭正男委員長（区政協力委員協議会議長）、平野隆之副委員長（日本福祉大学教授）ほか計22名の委員と、3つの作業部会により地域の意見を取りまとめて計画を作成。

平成16年度に特に重点的に
取り組む活動は？

表紙に掲げた本計画の「10の対応策」のうち、平成16年度に実施予定の重点事業は、次のとおりです。

- ☆福祉なんでも110番をつくる
- ☆ご近所の輪を広げる
- ☆地域で子どもを見守る
- ☆バリア探検隊を結成する

みんなで創ろう「わがまちひがし」メンバー募集!

これら事業の場所の選定、実施する日時、どんな人材が必要か、募集を行う方法などについて検討するほか、活動の運営（またはお手伝い）をしていきます。【メンバー いつでも募集中!!】

このパンフレットについてのお問い合わせは…

—たすけあい ささえあう 福祉のまちづくり—

社会福祉法人
名古屋市東区社会福祉協議会